

# 学校だより

## 自分も人も大切に

～思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心～



<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

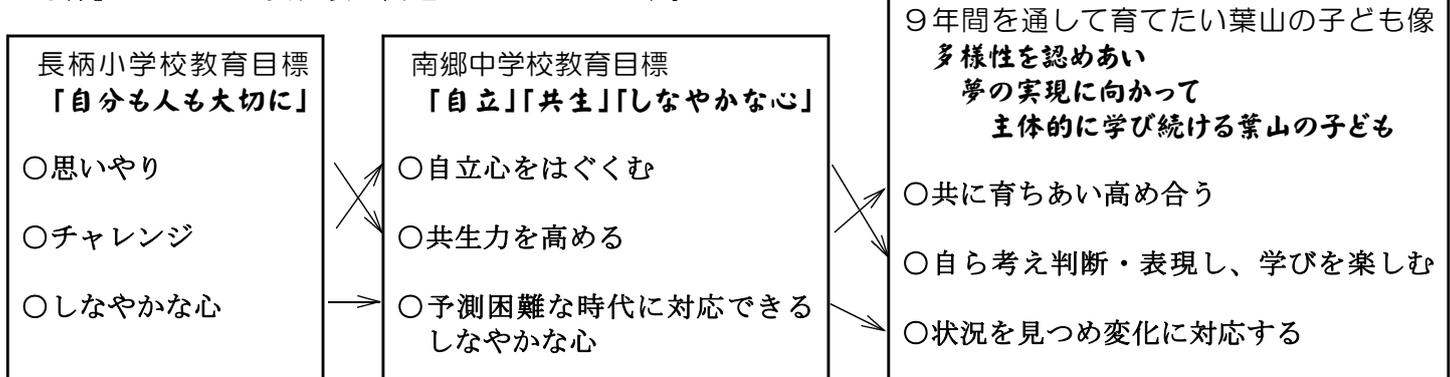
◆◆ 5月25日葉山町で初めての南郷中学校学校運営協議会が開催されました。 ◆◆

学校運営協議会とは、度々紹介しているコミュニティ・スクールのことです。会議の冒頭、葉山町では初めてのコミュニティ・スクールの発足であること、湘南三浦教育事務所管内（寒川・茅ヶ崎～三浦市）でも3校目のコミュニティ・スクールであることが紹介されました。

運営協議会の委員さんには、元本校校長、町内会長、地域の代表、葉山町青少年指導員会長、IT 関連会社代表取締役、国立教育政策研究所総括研究員、南郷中有 PTA 代表、長柄小 PTA 代表、南郷中管理職、長柄小学校管理職が選任され、葉山町教育委員会教育長より委員の委嘱を受けました。

第1回の運営協議会では、最も大切な「南郷中学校 教育基本方針」が審議の中心となりました。かいつまんでご説明すれば、2つの要点が委員の評価を得ていました。

一つ目は、南郷中学校の学校教育目標と、長柄小学校の学校教育目標と、「9年間を通して育てたい葉山の子ども像」の3つが大変密接に関連していることです。



矢印を追って頂ければ分かるように、9年間を通して育てたい葉山の子ども像に沿って、長柄小学校が掲げる3観点が南郷中に引き継がれ、9年間で育てたい子ども像に迫っていく構成になっていることが、会議で説明されました。

評価を得た2つめの要点は、学校経営方針が、全く同じ観点で構成され、学校が経営されていくことです。

- (1) 新しい時代に必要な資質・能力を育む学校**
  - 一人ひとりの教員が「授業を分かりやすくしっかり教える」とともに「基礎基本の定着」「確かな学力の定着」に努める。
  - 日々の実践、個々の研鑽・授業研究等を通して、指導方法の工夫・改善を図り教科指導力(授業力)を高めるよう努める。
  - ・・・(中略)
  - ☆今年度より一人一台配布されるクロムブックを活用するための研修を深めるとともに、これらを取り入れた授業にも取り組むように努めていく。
- (2) 豊かな心を育み、信頼でつながった学校**
  - 「自立」と「共生」と「しなやかな心」を心にとめて成長していく生徒を育てていけるように努める。
  - 全職員による生徒理解の徹底し、一人ひとりの生徒の変化を見逃さず、個々の成長の支援に努める。
  - 信頼を通して、相談しやすい教師・学校となっていくように努める。
  - ・・・(以下省略)
- (3) 地域を愛し、地域から愛される学校**
  - 職員全員が「チーム南郷」となって教育活動に取り組むように努める。
  - ☆コミュニティスクールを積極的に活用し、地域に開かれた学校を目指し、地域教育力・地域資源の積極的な活用に努める。
  - ・・・(以下省略)

南郷中学校の経営方針を一部抜粋したのを見て分かるおおり、経営方針の3つの柱は、**長柄小学校の経営方針の柱の(1) 新しい時代に必要な資質・能力を育む学校 (2) 豊かな心を育み、信頼でつながった学校 (3) 地域を愛し、地域から愛される学校**と完全に一致していることが分かります。これら同じ方針、同じ経営戦略で学校を動かしていくことも、年間の連続性等を考えたときに、大きなポイントと評価されていました。これらの説明や質疑を経て、南郷中学校の「教育基本方針」は拍手を持って承認されていました。

◆◆ 南郷中運営協議会でのその他の話題 ◆◆

会議で話題になったことは、南郷中学校、長柄小学校それぞれにおける、Chromebook の活用状況です。それぞれの状況説明にあたって、長柄小学校では少しずつ気運は高まっているが、学校だより第8号でお伝えしたとおり、保護者の皆様には、是非焦らず見ていてほしいこと。どんな使い方が授業において効果的なのかを教師が納得した状況で扱いたいことをお伝えしました。闇雲に使うことが目的化しないように上手に導入したい旨を伝えました。また、低学年1・2年の授業活用は難しい課題が多くあることも伝えました。

その他、南郷中学校からは、「伝統の校歌斉唱に取り組めないもどかしさや、南郷中学校独自の取り組み FGC 活動 (Find Good LIFE of Community) にもなかなか取り組めないもどかしさ」が報告されました。委員の一人から、それこそそんな悩みをこの運営協議会で話し合っていくことに意味があるのではないかとの発言があり、皆さん賛同されていた場面が印象的でした。

ちなみに、来年度本校がコミュニティ・スクール化していく際には、南郷中学校と長柄小学校が合わさった、合同の運営協議会としてやっていく構想を持っています。それゆえに、先述のような経営方針の一致や、学校教育目標の連携等も重要と捉えているところでもあります。6月18日には、本校教職員対象に文部科学省コミュニティ・スクールマイスターに任命されている、氏を招聘し、長柄小学校体育館にて、コミュニティ・スクールについて不安や疑問を解消していくためのワークショップを開催する予定です。その場に、南郷中学校教員数名や、南郷中学校運営協議会のメンバーで都合のつく方も参加して、一緒に学習していく予定です。そういった積み重ねが大切だと考えています。なお、その際にも、どんな話し合いであったか報告させて頂こうと考えています。是非皆様もコミュニティ・スクールに興味を持って頂ければと思っています。

◆◆ 5月26日、6年生の2回目の「水泳」が実施されました。 ◆◆

11時半には無事帰校した6年生。2回目ということもあって、かなり順調に実施できたという報告がありました。

◆◆ 葉桜にお住まいの方から情報提供がありました。 ◆◆

葉桜の汐見児童遊園地から下に降りる階段に、「マムシ」がいましたとの情報を葉桜にお住まいの方からいただきました。児童が遊び等で通るかもしれないと心配されお知らせくださいました。Honda キャンプ (<https://www.honda.co.jp/outdoor/knowledge/adventure/picture-book/nihonmamushi/>) のHPによると、「毒蛇として知られる。5月ごろから水田に出現し、10月ごろまで活動する。おとなしいヘビだが、水田脇などでとぐろを巻いてじっとしていることが多いので、気づかずに踏むと噛みつく。マムシがいそうな場所に出かける際には足を守るために長靴を履くのが基本。危険を感じると尾を細かくふるわせて威嚇するが、それ以上近寄らずに無視して遠巻きに通り過ぎればほとんど害はない。繁殖は卵胎生で、夏に交尾する。翌年の8～10月に2～15匹の幼ヘビを産む。」とあります。この方面の階段は、朝の登校時の使用に関しては通学路として認めています。登校時や、何らかの理由で通行する場合は、十分注意するようにお願いいたします。

◆◆ 4週間に渡った歯科健診が終了しました。健診後の ドクターからお話を伺いました。 ◆◆

【歯の様子について】・全国的な平均や鎌倉などの近隣市と比べると、まだ少し虫歯が多いが、健診で見つけた虫歯については、治療済みの歯が増えている点は評価できる。溝を埋めるシーラント治療を行っている児童も多く見かけた。ただ、世の中は「虫歯のない時代」になりつつある中においては、虫歯がまだ多い点については、少し課題を感じた。

- ・かみ合わせについて、歯並びの悪い子が増えている。これは、あごが小さいことに起因している。高齢者においては、「しっかり食べる、しっかり噛む」といった、虚弱・老衰 (フレイル) から脱却しようとする機運があるのに対して、児童がしっかり食べられなくなってきている。6歳までに上顎 (うわあご) 成長は8～9割決まるとされているが、軟らかい食べ物のせいや、疲れなから睡眠不足がちなのか、小児口腔機能不全症におちいり、あごが小さく、歯並びが悪くなっている。遺伝要因は20%、環境要因は80%といわれるあごの発達は、葉山町の児童においても課題と考える。
- ・矯正をしている児童は多かった。また、治療において、コロナの影響はほとんど感じなかった。

【児童の様子について】・あいさつがよくできる子とできない子がいるなど感じた。

……堀内先生、4週間にわたる健診と、貴重なお話ありがとうございました。

◆◆ いよいよ熱中症が気になる季節になってきました。 ◆◆

学校では機械を設置し、警戒に当たります。最上段数字が28を超えると嚴重警戒です。ちなみに26日は大変過ごしやすい日 (17.9) となりました。

